作成日: 2003/11/15
改訂日: 2021/04/16

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : パラフィン mp 62℃ - 64℃

**会社情報**

会社名 : 関東化学株式会社
住　所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-2-1
担当部門 : 試薬事業本部　企画管理部　資料課
電話番号 : (0120)260-489
ＦＡＸ番号 : (03)3241-1047
メールアドレス : BC32@kanto.co.jp

整理番号 : 32030

## 2. 危険有害性の要約

**GHS 分類**

健康有害性　眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　区分 2B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）　区分 3（気道刺激性）

絵表示



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

**注意書き**

安全対策 : 粉じんの吸入を避けること。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

応急措置 : 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質

| 化学名 | 濃度 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS RN |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| 固形パラフィン | 100 | CnH2n+2 | - | - | 8002-74-2 |

## 4. 応急措置

**応急措置**

吸入した場合 ： 直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合 ： 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合 ： 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 ： 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護 ： 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 ： 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤 ： 特になし
消火方法 ： 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護 ： 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置**

一般的措置 ： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

**環境に対する注意事項**

環境に対する注意事項 ： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

封じ込め方法 ： 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。
二次災害の防止策 ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

技術的対策 ： 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項 ： みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

**保管**

安全な保管条件 ： 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 ： ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|---|---|
| 管理濃度 | 設定されていない |

| | |
|---|---|
| 産衛学会 許容濃度 | 設定されていない |
| ACGIH TWA | 2 mg/m³（ヒュームとして） |

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

**保護具**

呼吸用保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
色 : 白色
臭い : 無臭
pH : データなし
融点 : 62 - 64 ° C
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 199 ° C (C.C.)
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : 可燃性固体
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 0.9
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水; 不溶。有機溶媒 : ジエチルエーテル､熱エタノールに可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率: : データなし
粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 非常に安定で反応性に乏しい。
化学的安定性 : 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性 : 強酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件 : 日光、熱。
混触危険物質 : 強酸化剤。
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素。

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 区分に該当しない
ラット LD50>3750mg/kg
急性毒性（経皮） : 区分に該当しない
ウサギ LD50>3600mg/kg

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性（吸入） | ： | 区分に該当しない（気体）<br>分類できない（蒸気）<br>分類できない（粉じん、ミスト） |
| 皮膚腐食性／刺激性 | ： | 区分に該当しない<br>ウサギを用いた Draize 法による 2 試験において、24 時間適用で「not irritating」と「slightly irritating」の結果があり、また 20 人のボランティアでの皮膚刺激性試験の結果、1 人にわずかな紅斑が認められた以外、他の 19 人は刺激性を示さなかったとの報告がある。 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | ： | 眼刺激<br>ウサギを用いた Draize 法類似試験において、軽度の 刺激性およびウサギの標準 Draize 試験において軽度の記述に基づき、区分 2B とした。 |
| 呼吸器感作性 | ： | 分類できない |
| 皮膚感作性 | ： | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | ： | 分類できない<br>In vivo 試験のデータがなく分類できないとした。なお、Ames 試験（in vitro 変異原性試験）で陰性の結果がある。 |
| 発がん性 | ： | 分類できない<br>ラットに 2 年間経口投与した試験で、腫瘍の発生率は対照群と比較して差は認められなかったとの報告があり、長期毒性試験における、実験動物に対するパラフィンは非発がん性であるとの記述がある。またウサギ・マウスの 2 年間経皮試験では、発がん性は認められていないとの報告もある。しかし、経口投与による試験では動物 1 種のみの試験データしかなく、「区分に該当しない」とするには疑義が残るため「分類できない」とした。 |
| 生殖毒性 | ： | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | ： | 呼吸器への刺激のおそれ<br>ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度の刺激性との情報に基づき、区分 3（気道刺激性）とした。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | ： | 分類できない<br>ラット 90 日間経口投与試験（0, 160, 1600 mg/kg/day）において、赤血球と血小板の減少、肝細胞の空包化、肉芽腫の発達、壊死、腸間膜リンパ節における肉芽腫の発現、細胞の過形成、頸部リンパ節における肉芽腫の発現、心臓僧坊帽弁の基部におけるリンパ球様細胞浸透の増加などの所見が用量依存的に見られたが、区分 2 のガイダンス値以下で試験が行われていないためデータ不足により分類できない。 |
| 誤えん有害性 | ： | 分類できない |

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

| | | |
|---|---|---|
| 水生環境有害性　短期（急性） | ： | 分類できない |
| 水生環境有害性　長期（慢性） | ： | 分類できない |

### 残留性・分解性

追加情報なし

### 生体蓄積性

追加情報なし

### 土壌中の移動性

追加情報なし

### オゾン層への有害性

| | | |
|---|---|---|
| オゾン層への有害性 | ： | 分類できない |

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ： スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

汚染容器及び包装 ： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

**国際規制**

**海上輸送(IMDG)**

国連番号（IMDG） ： 非該当
正式品名（IMDG） ： 非該当
容器等級（IMDG） ： 非該当
輸送危険物分類（IMDG） ： 非該当

**航空輸送(IATA)**

国連番号（IATA） ： 非該当
正式品名（IATA） ： 非該当
容器等級（IATA） ： 非該当
輸送危険物分類（IATA） ： 非該当

海洋汚染物質 ： 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質**

汚染物質カテゴリー ： Y

**国内規制**

陸上規制 ： 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。
その他の情報 ： 補足情報なし

## 15. 適用法令

**国内法令**

労働安全衛生法 ： 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９）
固形パラフィン （政令番号 ： 170）

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

海洋汚染防止法 ： 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第１）

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) ： 非該当

## 16. その他の情報

参考文献 ： 化学大辞典 共立出版社(1963).
17221 の化学商品、化学工業日報社(2021).
NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)、独立行政法人製品評価技術基盤機構.

＊この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253 に基づいて作成しております。